

1 中学校2年生 生徒・保護者からの主な御意見

Q10 Q9（学校選択制により，学校や教育に対する関心や理解が高まっていると感じますか。）の選択について理由があればお聞かせください。

【関心や理解が高まっている】

選べるという事で，他と比べるようになるため，情報を得ようと関心を持つようになると思います
より良い学校に通わせたいと思っており，積極的に方針や特色，取り組み実績等を確認するようになる為。
選択肢があることにより，比較検討をすると思うから。
選べる自由があれば特化していることなどの学校毎の独自の良さを知り，本人に合った，本人が過ごしやすい学校を選ぶことができるから
子どもに合う学校を選択しようと意識できる。

【関心や理解が高まっていない】

私立にするか，公立にするかの方が話題としてあがる
学校選択制の有無に関わらず，学校や教育に関する関心は高いため
選択制があるのは知っているが，指定校以外の情報が全く得られないので高まっているとは感じない。
学区近隣の中学しか案内がこないため比較できなかった。受験などがある場合は，公立学校の説明会が間に合わない。

Q15 Q14（中学校を選択できる機会があることについて，どのようにお考えですか。）の選択について理由があればお聞かせください。（子ども）

【選択できる機会はあった方がよい】

自分が通う学校なので，選択出来ることで，より自分にあった学校に行けるため。
部活とかやりたいこともあると思うから
興味のある部活動が地域の指定校には無かったの
小学校の友達と離れた子にとって良いから
友達関係に悩む子供もいるから
小学校の人間関係等でトラブルがあった場合に選択が可能なのは良いと思う。
仲のいい人と同じ学校に行けたりするから
私は行きたい学校に進学したわけではないけど，楽しい学校生活を送れているので自分が行きたいと思う中学校に行けるのがベターだと思います。
友達と同じ学校を選択できるから
小学校での人間関係をリセットできるチャンスの一つだから
自分に合った学校が選べるから。
自分に合った教育や部活を選べるから

【選択できる機会は必要ない】

近い方がいい

Q24 Q23（中学校を選択できる機会があることについて，どのようにお考えですか。）の選択について理由があればお聞かせください。（保護者）

【選択できる機会はあった方がよい】

小学校の時に合わなかった友達がいたり，学校に行きづらくなってしまった子等に新天地での新たなスタートが出来る機会があるのはとても良いと思うから。
学校の規模(1学年の人数など)や，その子に合う合わないがあると思うし，やりたい部活があるかは，充実した3年間を過ごす上で必要なかな…と思うので。
様々な理由でどうしても指定学校に行くのが辛い状況が誰にでも起こりうるから，選択肢はあるに越した事はない。
子供の考えを尊重すると共に自己の形成を促せるから。選択した後の自分への責任や納得した上での選択であれば通学にも責任が伴うことを理解できるだろうから
選択肢が多いほうが子供も視野が広がる
部活動や学校の規模など，子供にあう教育を選択できることは重要だと思うから。
子供の個性を考え，将来を見据えた動きができたため
選択制により親も子も進学についての意識が高まると思います。また，自分で選んだ学校となると責任感が増すような気がします。
決まった学校になると，不登校のお子さんの選択が狭まる。学校全てに同じ部活がある訳ではないので，中学の部活を楽しみにしている子どもの活動範囲を狭めたくない。

個々に合った学校スタイルがあり、3年間大切な時間を有意義に過ごすためにも無理なく通えることが必須であると思う。
やりたいことなどがある場合は、選択制で選べることで本人の中学生活のモチベーションにつながると思う
もし指定校だったら今のように楽しく中学に通えてなかったかもしれないと思うと、選択できて本当によかったと思います

【選択できる機会は必要ない】

選べることで偏りが生じるのではないかなと思うから
人気校、不人気校が生まれるから。いろんな人いろんな考え方の人がいて、お互いに理解をする努力をしながら成長させたいから。

Q26 Q25（学校選択制度の課題だと思うことはなんですか。（3つまで回答可））の選択について理由があればお聞かせください。

【地域との関係が希薄になるおそれがあること】

家の近所で友人を作りにくい
近所の同学年の方との交流は全くなく、地域にはこれからも住んでいくので、災害時や防犯など、近所の同学年の方たちとの関わりも大切だと思うから。
地震などの災害時の安全確保などが課題なのでは、と思うから。

【子どもの通学上の安全確保に不安があること】

近所の友達と一緒に登下校出来ないから
選択制を考えないわけではなかったが、電車が通ってない地域でバスか徒歩通学を考えた時に、朝早く起きなければならぬ、金額の負担、歩ける距離ではないなど現実的ではなかった。それが断念した理由でもある。
安心安全メールで子どもの通学圏内での痴漢や不審者情報があるとどう指導すれば良いのか判断が難しい。登校中の場合はルートから外れて交番へ行かせた方が良いのか、自宅に帰宅させて自宅から警察や学校へ連絡をした方が良いのか？最適解が判らない。現に今年は学区内の登校中の生徒が痴漢にあったと安心安全メールで読んだので、我が家でも話し合ったが難しさを感じた。
学区から離れるとどうしても公共交通機関の利用が増える上、部活に参加すると帰宅時間が遅くなるので心配。

【学校の規模など学校格差につながる事】

いい部活のある学校に人が集中する可能性がある
小規模の学校に、目が行き届くという理由で授業や生活面でも少し手のかかる子が集中してきて、先生の負担がおおきくなっているところがある
人気のあるところに生徒が集まりやすい。
学校によって良くも悪くも総合的な偏りが懸念される可能性があるため。

【通学距離が長くなり、子どもに負担がかかること】

公共の交通機関で通にくい中学校が多く、自転車通学の範囲が広がると選択肢も増えるとおもいます。
選択できることで、通学時間など多少無理をするおそれがある
遠方になる可能性があるので、行って馴染めなかった時に、遠いとさらに行きたくなる。
学区外ということで徒歩通学で40分も重い荷物を背負いながら通学しています。自転車通学の許可が出れば良いと思います。

【風評（うわさ）等による選択が行われること】

ネットなどによるごく一部の風評が大袈裟になり、学校のイメージに繋がっている現実がある。
中学校の色々な評判が保護者内にあることでそれに影響される人もいると思うから。
小規模な学校だと「あの学校は配慮を受けやすい」という噂が保護者の間で広がっている。実際は根拠のない噂でしかなく、配慮が特別に受けやすいということもないと思われるが、一度広まった噂は未だに広まり続けているようです。

Q27 学校選択制について、ご意見がありましたら自由にお書きください。

もっと指定校以外の学校の情報が入る機会が増えれば、本当に行きたい学校を見つけやすくなると思う。
やりたい部活があったり、新しい環境を求めた時に、受験という選択肢ではなく、公立で行きたい学校を選べるのが良い。ただ、抽選で外れた時の絶望感がすごい...
自転車通学を許可してもらえれば、通学範囲が広がり選択肢が増えるのでは。
選択制を最終的に利用しませんでした。近隣の別の中学校も見学したり、子どもが中学生生活を考える大変いい機会となりました。結局は子ども本人の希望で学区指定の中学校にいました。これからも継続していただきたいです。
校長が変われば学校が変わる公立は異動があるから、何を持って選択すべきか難しい
自分の子供達は地域の学校に通っておりますが、選択できるのは良い事と思います。子供の意思だけではなく、受験に失敗して公立に行かざるを得ない子や、家庭の事情で地域の中学に行かせたくない親もいたので、それのような方には救いになっているのです。自由度が高い故に手続きやシステム運営も大変な苦労かと思えます。これからも選択制度が続くよう、頑張ってください。
反対。結局親の意見や考えで決まるため格差が生まれていると思う。将来的にも考えて義務教育の間は選択制は必要ないと思う。
学校選択制がある事で多様なニーズに応えることができると思うので、選択できるのは良いと思う。ただ選ばれやすい学校や選ばれにくい学校が出てしまうのは課題なのかも知れない。
もし学校選択制になれば徒歩での通学時間に応じて、自転車通学の許可も市内全校取り入れて欲しい。

2 小学校5年生 児童・保護者からの主な御意見

Q7 Q6（学校選択制により、学校や教育に対する関心や理解が高まっていると感じますか。）の選択について理由があればお聞かせください。

【関心や理解が高まっている】

選択肢があることで、学校について調べようとする機会が増えたから。
昔は嫌でもしかたなく指定校に通っていたので、選択できるようになればその分情報集めなどに保護者が積極的になるから。
公立中学でも学校によって、どのような特色、違いがあるのか関心を持つようになりました。
公立中学について話す機会が多く、関心が高まっていると感じます

【関心や理解は高まっていない】

中学の情報が入ってこないため
公開されている行事等があまりなく、説明会も6年生の終わりにしか聞けないため、様々な学校を子供自身がみる機会がない。
学校選択制が要因で、関心や理解が高まるほどの情報は無い。
内情が公開されていないから近くでいいとなる

Q11 Q10（中学校を選択できる機会があることについて、どのようにお考えですか。）の選択について理由があればお聞かせください。

【選択できる機会はあった方がよい】

自分のやりたい部活の有無での選択や、交友関係の変化が欲しい方もいると思うから。
選択の機会はあった方がいいと思うが、3年間の通学を考えると居住地以外の学校は余程の理由がないと踏み切れない
友人関係など、環境を変えたい場合に救われる
自分で調べ、選ぶという事が可能になれば、子ども自身が自分の行きたい学校に興味を持ち、自主性を持って行動する経験を積むことができるから。
生徒数が多すぎたり、少なすぎたり、通学しやすいなど子供にとってのし易いは、それぞれ違うから。
中学生の子どもにとって、入りたい部活動がある学校を選択できる意味は大きいです。学校生活へのモチベーションも上がると思います。
各校に特色、個性があるので、そのカラーにあった学校に通わせたいと思います。
たくさんの選択肢から選び取る経験があったほうが良いと思うから。
中学校同士が魅力を高めようと努力するから。
進学に自分の学力や環境について見直しできる。自分で進路について選択できるのは良いことだと思う
公立は多種多様に恵まれているので、そこで更に子ども本人が学校を選ぶ機会を与えることは、年齢的にも自分の将来を考え始めるちょうど良い機会だと思う。将来を漠然とでも考えないと自分にどんな教育が必要か、その教育を与えてくれる学校はどこなのか選べないと思うから。

【選択できる機会は必要ない】

なし

Q13 Q12（学校選択制度の課題だと思うことはなんですか。（3つまで回答可））の選択について理由があればお聞かせください。

【地域との関係が希薄になるおそれがあること】

家の近くに友達を作りにくくなりそう。
子どもにとっては地元となる繋がりが薄くなるのではないかとはいいますが、子ども自身が行きたいと思う学校に通えることの方が重要ではないかと考えます。

【子どもの通学上の安全確保に不安があること】

子どもの交通事故が多いから。
やはり部活を始めると下校時間が遅くなるので特に冬は暗い中、長い距離を歩いて帰ってくるのが不安です。
人通りが少なかったり、暗い道が心配
遠い学校への通学は、部活動帰りなど遅い時間に帰宅するのは親としては不安（特に娘の場合）

【学校の規模など学校格差につながること】

コンスタントに一定数の生徒が集まらなると、クラス数が学年毎に違ったりして教育活動に支障をきたす懸念がある。
人気のある学校に生徒が集中してしまうと、1クラスあたりの生徒数も多くなり、授業などで個人的にわからない部分を先生に聞くことがしにくいなどといった「やりづらさ」が出る可能性もあると思います。
希望が偏った時の、先生方、生徒のモチベーションが下がるのも心配

【通学距離が長くなり、子どもに負担がかかること】

重い荷物を持つての通学時、公共交通機関のみの使用制限の学校が多いが、自転車通学も検討してほしい。より選択しやすくなるので。
近い方が、負担は少ない。

指定校以外で考えてる学校はあるが、朝のラッシュ時に電車に乗って通うのは難しいのではないかと
思っている。マイクロバスの活用などもっと行きやすくなる環境を整えて欲しい

【風評（うわさ）等による選択が行われること】

私立の学校と違いあまり情報がなく判断しづらいから。

現に、確かな情報というより噂しか知らないので、他地域の中学校は更に未知だから。

「あの学校は、～らしいよ。」という話をたまにするが、それが正しい情報なのかは分からないが、判断材料の一つにはなってしまう気がする。

「○○中は内申が厳しい」「○○中は変な先生がいる」など、実際に耳にしている。噂され敬遠された中学に上の子が通ったが、全くそんなことは無いと感じている。

風評等は、学校公開やオープンキャンパス等で解消していこうとする努力が大切かと思います。

選択肢が増えるということは、それだけ、正しく新しい学校側からの情報が常に必要になってくると思う。

Q27 学校選択制について、ご意見がありましたら自由にお書きください。

部私立学が、公立校、私立校、開校の案、内小、学、校、や、ぐ、の、配、信、な、ど、を、通、し、て、お、知、せ、頂、け、る、と、嬉、し、い、で、す。機
会、立、ま、す、が、調、布、の、市、立、の、中、学、校、は、そ、う、し、た、機、会、を、得、な、く、い、よ、う、に、感、じ、ま、す。

学校別の特徴がある方が選択しやすいですが、公立学校として、どの学校へ行っても平均的な学力が身につくようにしてもらいたい。また、先生たちの負担を軽くするように、工夫していただきたいです。

推薦校以外の情報も欲しい
説明会の日程は被らないように設定してほしい

[illegible]

正直、良いのか悪いのか分かりません。そもそも公立ならば、差が出るのもまたおかしい話だとも思うので。

特色差があまりわからない。

まい保、と成績
いてなほ！で実
てゐるが動
しな色あす折活
をに、でう選の
認表状のそくれ
確實見るもくれ
で、す私つれで
み、す断、せそ
てくま判はたす
いない、れでま
歩はてで出け、し
でてくがだ無し
れ思ひ話がある
まれつなとそ
校、そなとそ
学れいえく、活イ
のそだ見行が部と
れ等めがにす、る
れ備伏色学で係
そ、設に特材聞ら
れ、のモの材違
そ、校校と断交
か、最学と判はめ
の、のこのト早
人てこどつんが
籍と、とイ料
か、在も、てひ百資
か、を土もぶか
が、無の同れ選
間、有そる者そ
の、の。いた、達
の、活す、す供わ
い部、でじなま子
ら、ない感にい。ら
く、うして達てす
れ、よ欲み友じま
ど、たにてお感じ
に、つめしがと感
学、あ早を人な
通、には話本う
で、記れおにろ無
子、上あ、と時あ
親、にが方、で勿
、他、の生、のに
在、も。若、年、る
現、する、護、六、な、る、等

学校を選ぶ上で説明会の開催や見学する機会が少ないように思います。なので今後は6年生だけでなく下の学年もそういった選択する情報を得られる機会を増やして頂きたいです。

活い分
生な自
校いを
校に境
学て環
なめ環
た染強
新馴勉
てに、
えブと
変える
境ルえ
環グ考
を係を
校間能
学問性
中人可
たる
もれな
てらに
く作校
なに登
か既不
いでで
く校校
手小学
上小中
で。ら
校うか
学思ス
小とレ
のだト
今とス
こうう
りい通
た良に
んも校
選て学
良にと
もはの
ったの
合でま
待、ベ
分期待
期合選
目に場

子ども主体の学校生活をおくることをできるよう、見直したり、足したり引いたりしながら、個性豊かに、安全に成長できる基盤づくりをお願いします。

つをま居安
か境。ら
な環すが
れのでた点
入係たし観
に關つもの
輸人かりど
の友たあな
達にが故
友機り配事
くをあ心通
な進心に交
ん常學して
なす。非通し
で、はの時親
うと候め
校よた天た
學いっ悪た
小であにあ
いたが特あ
たれば、に
し送肢、に
まが択め係
活選た関
學生の外置
進學校にい
学中に就す
のし受園や
のし學通
外乗車上
定案、軌線
指常て、転
指定、路
地非はス
住てと校バ
居しに学は
で転も中校
度一のの学
制機子定中
の心い指のた
こ、た地外し
ろえ住定ま
がこ変居指き
弟とし、地で
元た少した住

思っていた。学校の特色や違いを知らない機会がなくて、友達に聞いてみる。公開されている情報も少ないのだけれい、友達と一緒に通えないリスク

学校選考という考えはとても良いと考えています。そのためには、学校を見学したり、様子を見たりする機会が下学年からもっとあるといいと思います。学園祭等。

情開
らを
かス
側パ
校ン
学ヤ
をキ
徴ン
特フ
の一
活才
部な
針う
方の
の学
校大
各ま
い思
いす
た信
と配
いし
願く
お開
をを
供示
提論
報討
情の
な問
分積
十校
千校
に料
側長
る材
校断
すの
すの
折校
選各
る各
合の
るの
の選
のし
場折
の選
制信
折異
選報

各々の学校のホームページを拝見すると、どの学校も情報の提示が充実していて雰囲気を知ることが出来る。給食の日に写真も撮る。学校行事のポスターなども公開授業に参加するのは平日は難しいので、小中学校の授業が各々ある。土曜日の夜に少人数で行事していたところと、公開授業の参考にできていいと思います。

[illegible]

みも
て、
いが、
聞す
をで
話定
の予
学が
方進
たに
中つ
使の
際区
実う
定、
指し
の話
たに
った
によ
か望
は希
いの
る人
かき
本で
使ち
更
り変
であ
まな
も学
はて
つ合
校選
子更
字と
はマ
はッ
の時
すが
のが
由子
の理
上し

自由に選べるが、各学校の情報が少ないので、子どもたちにも通達し、市立中学校の授業の様子を見学し、可能な限り、授業の様子をビデオで撮り、保護者に知らせる。また、授業の様子をビデオで撮り、保護者に知らせる。また、授業の様子をビデオで撮り、保護者に知らせる。

中学受験をしないとしても、学区以外の学校へ進学する選択肢があるというのは、いろんな事情がある家庭には救いになると思う。

[illegible]

学校選択制は、通学時間が長くなり、部活などで遅くなるのも心配で

9. 目録車通字可能範囲を増やしてもうえると選択肢が広がると思いやり。

子どもが自分の個性にあった学校で学ぶことができるようになってとても良いと思います。親子共々、意欲的に学校に参加したい気持ちが高まるのではないかと感じました。

3 中学校教職員からの主な御意見

Q4 Q3（学校選択制を実施することにより、児童・保護者の学校や教育に対する関心や理解が高まっていると感じますか。）の選択について理由があればお聞かせください。

【関心や理解が高まっている】

選択制があることで、普段目を向けなかった部活動や各校の特色に関心を持ち、深く知ろうとするため。
学校見学の来校が多い。また自分の子供が選択するときにも、多くの保護者が関心をもっていた。
学区域の中学校だけでなく、市内の学校の特色等について積極的に理解しようとする保護者が増えたと思う。
学校の規模によって学校の特色が違いため、生徒の特性に応じた学校を選択できることは教育に対する安心感や関心につながっていると思います。

【関心や理解が高まってない】

本当に興味や長所などを感じてその学校を選んでいるのかは疑問である
学校の良さより、子どもの小学校時代のトラブルや部活やりたいからと言った理由が多いと思います。

Q6 Q5（学校選択制を実施したことにより、中学校が選択できるようになることで、中学校が活性化したと思いますか。）の選択について理由があればお聞かせください。

【活性化したと思う】

新入学保護者に向けた説明の時期が早くから（2学期中）できていることで、中1ギャップを埋める機会づくりになっている
〇〇中は人数が少なかったが、特別支援のフォローがあることで、人数も増え、区域外の生徒が安心して過ごしていると実際に通った保護者から聞いたため。また、部活動での選択もでき、モチベーションをあげることができた生徒がいたため。
部活動や委員会活動が活発になった
文化部の新規創設

【活性化したと思わない】

学校選択制の影響で、学校が変化しているとは思えない。
教員の負担が増える。
学校を活性化させるよりは支援的な理由で選択するケースが多い気がするから（〇〇市での経験から）

Q8 Q7（学校選択制を実施したことにより、学校として良かったと感じることはありましたか。）の選択について理由があればお聞かせください。

【あった】

部活動での選択もでき、モチベーションをあげることができた生徒がいたため。
新しい環境で頑張ろうとする子もいる
様々な小学校から生徒が入学することで、聞き取り等は大変ですが、生徒たちの交友関係等で成長がみられると思います。
選択されたということは、その学校に魅力がある意味でもあり、学校として良かったと感じています。

【なかった】

教員の負担が増える。
入学者数が定まらず、学校経営や異動に支障が出ていると感じる。

Q10 Q9（学校選択制を実施したことによって、学校と地域とのつながり・連携が希薄化していると思いますか。）の選択について理由があればお聞かせください。

【希薄化していると思う・まあまあ思う】

同窓会や地域行事への参加が減ってきている
登下校の面での心配はあり、学区外の場合は居住地との地域とのつながりは難しい面がある。

【希薄化しているとあまり思わない・まったく思わない】

人数的には決して多くないため。
元からそんなに繋がりを感ぜない
本校は学区域の生徒の母体数が多いので選択制で通っている生徒は一部であり、基本的な地域のつながりは残っていると思う。
そもそも地域を狭く考えすぎている。調布市という地域の活性化、調布市の子どもたちのメリットというように、広く考えれば全く問題ない。
コミュニティスクールに関する取り組みが進んでいたり、生徒会主催の取り組みがあったりするから。

Q12 Q11（中学校を選択できる機会があることについて、どのようにお考えですか。）の選択について理由があればお聞かせください。

【選択できる機会はあった方がよい】

友人関係、施設、本人のやりたいことなど希望が少しでも叶う場合があるから。
少子化が進む中で一人ひとりにあった学校選びをして丁寧に子どもを見守っていく必要があると思うから
意欲的な生徒が入学してくる。
不登校など有効な対策となると可能性もあるから

【選択できる機会は必要ない】

今までいらなかった仕事や指導が増えそう。
地元の学校へ通えばよい。地域で育てる事へもつながると思う。

Q14 Q13（学校選択制度の課題だと思うことはなんですか。（3つまで回答可））の選択について理由があればお聞かせください。

【地域との関係が希薄になるおそれがあること】

なし

【子どもの通学上の安全確保に不安があること】

こどもの安全管理に負担がかかる

【学校の規模など学校格差につながる事】

極端に生徒数が増加または減少する中学校の教員数、教室数に問題が生じる可能性がある
--

【通学距離が長くなり、子どもに負担がかかること】

なし

【風評（うわさ）等による選択が行われること】

親同士の会話の中に、風評だったり、〇〇ちゃんを通うからさせた方がいいという理由で選択することがあった。
選択制を実施するにあたり風評による選択は避けられない課題だと思う。特に成績のつけ方や学年の雰囲気、問題生徒などの情報に保護者は意識が向くと思う。

Q15 学校選択制について、ご意見がありましたら自由にお書きください。

学校選択制の廃止を含めた検討を望みます。地域に根付く学校を目指すコミュニティスクールに市立学校は変わります。学校選択制はその意義と反する物が多いと思うからです。コミュニティスクールをより進めるためにも、小学校と中学校の学区を見直して整合させ、1つの小学校から1つの中学校に進むようにできないでしょうか。
教職員の負担になるようなシステムはやめていただきたい。
一部の生徒にはセーフティネットになっている場合もあると思うから意義はある。
選択できることはよいことだが、学校の施設規模を考え、上限など設定する必要があるのでは。また保護者にも、「選択したのだから積極的に学校に協力する」という前向きな姿勢がほしい。学区外から入学するのなら、学区からの生徒以上に、学校の活動や情報・子供にも関心をもつ必要があることを理解してほしい。
それによって学校にメリットがあればぜひとも聞きたい。それによって増える仕事の代わりに何を減らしてくれるのか聞きたい。
市内大規模校生徒数と小さい学校格差の改善をした上で選択性が市内教育の質の向上につながると思う
部活動等や人間関係で学校が選択できるメリットもあるが、通学距離や通学時間、学校の受け入れ状況等を考えるとデメリットもある。また、教室の数により受け入れが大変になることもあるので、対策を考えてほしい。
私も一保護者として選択を自分の子どもと相談する時期になりましたが、学校説明会を平日に設定している学校が多いです。今は共働きの家庭も増え、なかなか時間の都合をつけることが難しく、せっかくの自分の目で見て判断する機会が失われてしまいます。市としても、学校説明会はできるだけ土曜日（土曜日に就業の方もいるかとは思いますが）に開催するよう働きかけてください。
このまま今後もぜひ継続させてください。
子どもが通いたいと思える学校に行けることは素晴らしい。良い制度であるが、学校選択制の教員へのメリットは特にない。
学校の規模などにより、その学校に適した生徒数は様々で、学区制を基本としたほうが良いと思う。それでも、部活や人間関係、特別支援教育などの観点から選択したい人は教育委員会が面接などしたうえで別の学区に行くなどしたほうが良い。
その学校の特色を維持してゆくための人材確保が課題。特に部活指導。
職員定数のごともあり、現場としては悩ましい時もある。また、部活動による選択は、当該部活動の指導者が異動によりいなくなったり、学校現場に大きな負担となる。生徒の安全確保についても、同様。
校長が変わることで学校の特色が変わってしまわないようにしていく必要がある。
義務教育だから学区がすべて決まっていることは、時代にそぐわないと考えます。ある程度、選択ができる現在の制度の維持が重要と考えております。

4 小学校教職員からの主な御意見

Q4 Q3（学校選択制を実施することにより、児童・保護者の学校や教育に対する関心や理解が高まっていると感じますか。）の選択について理由があればお聞かせください。

【学校や教育に対する関心や理解が高まっている】

児童が部活動や行きたい学校について考え、保護者と相談しているため。
学校選択の前に、親子で見学に行くようになっていたため
中学校進学にあたり、学校説明会に参加するなどして、進学先を検討するご家庭もあるため。
個人面談の際にいろいろと保護者のほうから質問をもらった。
保護者から、学校の雰囲気や部活動を考え学校選択制を検討する話を聞くことがある。

【学校や教育に対する関心や理解が高まっていない】

本当の意味での関心にはなっていないのでは
あまり聞かないから

Q6 Q5（中学校を選択できる機会があることについて、どのようにお考えですか。）の選択について理由があればお聞かせください。

【選択できる機会はあった方がよい】

部活などやりたいことがある場合、それができる環境であってほしいから。
いじめや、身体的、精神的な理由で変えたい場合は、選択できた方がよい。
通学時間等も考慮しなければならないと思いますが、本当に必要な支援を希望できたり、自分の目標に向かって努力したい児童が希望の学校に進学したりできる可能性が広がるから。
学校が選択できることで、受験をしない家庭でも、将来のことを話すきっかけになっていると思うから。

【選択できる機会は必要ない】

なし

Q8 Q7（学校選択制度の課題だと思うことはなんですか。（3つまで回答可））の選択について理由があればお聞かせください。

【地域との関係が希薄になるおそれがあること】

なし

【子どもの通学上の安全確保に不安があること】

登校距離が長くなり、帰宅時間が遅くなることには、防犯上不安があると思う

【学校の規模など学校格差につながること】

学校の規模以上の入学希望者が集まった時の対応は大変だと思う。

【通学距離が長くなり、子どもに負担がかかること】

児童への負担は保護者も承知の上で、それがあっても選択したいのであれば、それだけの覚悟をもって進学するので進学先とじっくり相談する機会を設けてほしい。
--

【風評（うわさ）等による選択が行われること】

保護者の情報網が広がり、学校に関する正しくない情報も多々流れているから。
「〇〇中学校は人数が少ないから教員の目が届いて落ち着いている」という保護者の話を現在も聞く。従前と比べ〇〇中の人数も増え、状況が変わっていることを知らない保護者が多いことを考えると、正しい情報をもって子ども・保護者が学校選択をしているとは言えない事実があると思う。

Q9 学校選択制について、ご意見がありましたら自由にお書きください。

選択制とせず、事情があれば希望をかなえる形にするのが良いと思う。
規模や実績のある部活動、苦手な人間関係をリセットしたい、などの理由で選択できることは良いことだと思います。
登下校時のトラブルが、教員の責任として捉えられている現状を考えると、学校選択制で通学距離や手段が多岐に渡ることによって起こる問題を学校の責任のように捉えない決まりが必要だと思います。
学校を選択する機会があることは、保護者や子供にとっても機会としてよいと思う。しかしながら、判断の材料がただオープンになるか、またどこまで詳細な情報提供の方法や内容が選択する側のかにより、学校の選択に影響を与える懸念もある。市で統一した情報提供の方法や内容が選択する側の保護者や子供に与えられて、そこから取捨選択ができるようになることよいのではないかなと思う。
調布市内の小学校2校で6年生を担任し、何度も卒業させましたが、選択できることにより新たな生活を送る友達を築きたいという願いが叶い、本人もそれまでの失敗を生かして生き生きとした中学生活を送る見聞ができて、感謝しています。特に特別支援の必要なお子さんへの保護者としては夏前か何年主任や特別支援教育コーディネーターと情報交換もでき、小学校生活での様子などを具体的に中学校に伝える機会を設けています。
中学受験を考えているご家庭は、3年生くらいから本格的に考えている。6年生より前に、情報提供した方が、選択肢が広がってありがたいように思う。

選択制は続けていただきたいのですが、教員の負担を予防、保護者の悩みを予防に向け、教育委員会である程度人数バランスを調整(例えば保護者が選択した理由に寄り添いながらも、〇〇小もこんな特色があつて選んで行かれる方もいらっしゃるのですよなど情報提供するなど)していただけるとありがたいかなと思いました。
我が子も、校区を変更して中学に進学しました。家から距離があり、登下校に時間がかかりますが、同じように、校区外から来る友達が多く、小学校の時よりも人間関係が広がり、楽しく通っています。安全面で不安がありますが、校区を選択できてよかったと思います。難しいかもしれませんが、自転車通学が認められるとありがたいです。
ぜひ今後も続けてほしいと思っています。
よい手立てが浮かんでいるわけではないが、保護者が正しい情報をもとに学校選択ができるとよいと思う。
選択する自由があるのは良いことだが、一時の風評等で誤った選択や偏りを防ぐための正しい情報開示が求められる。

